

巻頭特集

# 峡東フルーツパトロール

～大切な果樹を守りたい～

果樹農園の多い地域ならではの悩み「果樹の盗難」。丹精込めて育てた果樹が、収穫前に狙われる。このようなことを防ぐため、毎年畑のパトロールを担当している営農指導のスペシャリストに現状を伺いました。



**JAフルーツ山梨 営農指導部**  
次長(兼)営農指導課長 星野 一雄さん



◎ここ数年の被害は  
ブドウ(シャインマスカット)の被害が一番多いです。昨年は桃の被害もありました。

◎収穫直前の時期、気を付けることはありますか？  
園の周囲に暴風ネットを張り、侵入者の侵入を防いだり、防犯カメラの設置を行っています。

◎動物からの被害などもあったりしますか？  
動物の被害は上げたらキリがありません。イノシシ、鹿、ハクビシン、アライグマ、クマ、サル、カラス、など様々です。

◎地域での取り組みは  
JAフルーツ山梨では、収穫が始まる時期に、警察、県、市役所、青色パトロール隊、地元の消防団の皆様地域の見回りなど防犯活動にご協力をいただいています。また、生産者の皆様にも不審者や見慣れない車だったらナンバーを控えておくなどの防犯もお願いしています。



▲JAフルーツ山梨 出発の様子  
JAフルーツ山梨

◎峡東エリアの皆さんにメッセージをお願いします。  
峡東エリアは日本の果樹生産地域です。さくらんぼから始まり桃やすもも、ブドウに枯露柿など様々。1年に1回しか収穫できない果物を盗難に遭うと悲しくなります。このような被害を防ぐため、JAでは日夜防犯に努めていますので、地域にお住いの皆様にも1件でも被害が減るようにご理解、ご協力をお願いいたします。(過去に犬の散歩中に不審者を発見し、逮捕につながった事例もありました。)今年も甘くておいしい果物を皆様にお届けできるよう、努力してまいります。



被害 対策 工夫 などの声

私たちが行っている盗難対策は作動中の札をはったり、柱に反射盤をつけたり工夫しています。

さくらんぼ、もも、すもも、ぶどう、いちごを栽培しております。人感センサーや監視カメラなどをつけて対策をしています。

私の盗難対策は畑の中を綺麗にしておいてすぐに確認出来るようにしております。又、隠し防犯カメラを置いて置くのも良いと思います。

甲州市 桃・ぶどうの駅 内田フルーツ農園 内田さん

山梨市 大沢農園 大澤さん

笛吹市 農業グループ 職農人 三枝さん

**JAふえふき 指導部指導課**  
課長 高野 隆範さん



◎盗難被害への対策は？  
果樹ばかりでなく農機具や脚立などの被害もあります。携帯電話によるメール配信を活用し組合員への注意喚起と「盗難警戒中」のステッカーを表示して農協車両による巡回を行っています。また、圃場へ防犯カメラを設置しデータが残れば警察への情報提供しています。

◎地域でできることは？  
笛吹警察署・地域の消防団による防犯パトロールなどの協力をして頂いています。また、農家の方にも圃場周辺で普段と変わった様子など異変がありましたら注意や警戒するなどお願いしています。

◎峡東地域の皆さんにメッセージ  
手間ひまかけて育て、年に1回しか収穫できない農作物を盗難から守るためにも、皆さんの協力が必要になりますので、不審者や不審車両を見かけたら110番通報をお願いいたします。



JAふえふき

自主防衛策として、畑に入れない威嚇製品の販売、レンタルを扱う「ほうじゅ倶楽部」畑の場所やそのニーズに合った商品を扱っています。ほんの一部をご紹介します！

監視カメラ「見張りん坊」シリーズ



ほうじゅ倶楽部

農家さん 必見!!



## 果実盗難警戒中 日下部果樹盗防衛隊



日下部警察署から

果実を盗む行為は、窃盗罪に該当します。刑法235条に定められており、法定刑は10年以下の懲役又は50万円以下の罰金と定められています。峡東地域は、県内においても有数の桃、葡萄の特産地域ですので、毎年、果実の収穫時期には盗難事件が発生しています。日下部警察署では、収穫期の前にJA、青色パトロール隊などの自主防犯ボランティア団体、消防団、市役所と連携して合同パトロールを実施し、警戒を強化しています。

盗難防止の対策として

- 1 不審者を寄せ付けない地域の目を増やし、地域全体で防犯意識を高く持つこと
- 2 防犯カメラ・防犯ネットなどを設置すること
- 3 犯人は下見をします  
見慣れない人、車が徘徊しているなど「おかしいな」と思ったらすぐに通報すること

が効果的で、このような対策が果実泥棒に対する抑止力になります。「不審者の服装、体格、年齢」や「不審車両のナンバー、色、車名」などを控えて、速やかに最寄りの警察署または110番通報をお願いします。また、農業の繁忙期には日中自宅を留守にすることが多く、空き巣などの泥棒に留守を狙われ、空き巣被害に遭うケースがありますので、畑などに出掛ける際には家の「鍵かけ」を徹底しましょう。

